



第16図 日立ベルソーナ TRA-568



第17図 TRA-568 専用の携帯用バッグ

ターとしてはきわめて小形軽量セットである。

- (3) 2倍にテープが使えるよい音質 大形だ円スピーカによる「前面音響方式」と、定評のある「日立マイクロモートル」を使った回転むらのない安定した動作に、広範囲な周波数特性を備えているので、簡単な音楽や会話は4.75 cm/sの低スピードで十分な音質が得られ、さらに9.5 cm/sの高スピードでは、19 cm/s並みのハイファイ音で再生できる。したがって1本のテープにより音質で従来の2倍の録音ができる。
- (4) 取り扱いやすい機構 回転レバー式のつまみ一つで、録音、再生、停止、巻き戻し、早送りの全ての取り扱いが確実にできる。またスピードの切り替えは、キャプスタンの差し替えて簡単にできる。
- (5) 見やすく寿命の長いレベルメータ マジックアイより寿命の長いレベルメータを使用しているので、いつまでも正確で、正しい録音が子供にでもらくにできる。
- (6) 感度のよいダイナミックマイク ハイファイ録音には欠かせない感度のよいダイナミックマイクが付属している。
- (7) 便利な録音ジャックとコードつき ラジオやレコードプレーヤーからじかに録音でき、また外部スピーカも鳴らすことができる便利な録音ジャックとエクステンションコードがついている。

価格 現金正価19,800円、月賦正価21,200円(12回月月賦)で別に応用部品として、屋外への持ち運びのときに便利な携帯用バッグ(高級ビニール、内布張り)も同時に発売現金正価500円である。

その他規格詳細は次のとおりである。

使用真空管(日立).....	12A X7, 6BM8
テープ.....	5号録音テープ(直径127mm)
テープ速度.....	9.5 cm/s(3 $\frac{3}{4}$ in/s)
	4.75 cm/s(1 $\frac{7}{8}$ in/s)
ト ラ ッ ク.....	モノラル半幅ダブルトラック方式

使用時間...	9.5 cm/s...往復1時間30分(ロングプレー・)
	4.75 cm/s...往復3時間(35 μ テープの場合)
外部出力.....	1 W(無ひずみ)・1.5 W(最大)
スピーカ.....	16×8 cm P. M. スピーカ
録音方式.....	交流バイアス式
消去方式.....	交流消去方式
モーター.....	インダクション形
巻き戻し.....	4分以内
早送り.....	4分以内
周波数特性.....	150~7,000 \sim (9.5 cm/sのとき)
	150~4,000 \sim (4.75 cm/sのとき)
ワウ・フリッター.....	9.5 cm/sのとき0.4%以下
	4.75 cm/sのとき0.6%以下
電源.....	交流100V 50/60 \sim
消費電力.....	50W
大きさ.....	幅24 cm 高さ13 cm 奥行20 cm
重量.....	約4 kg

小がらて鋭い感度の“ベティー”シリーズの新形 7石2バンドポータブルラジオ WH-732発売

日立の小形ポータブルトランジスタラジオの“ベティー”シリーズの新形としてWH-732がこのほど発売された。

本機は幅132 mm、高さ82 mm、奥行33 mm、重さ310 gという小形、軽量ながら高感度、高出力でこれからの旅行やハイキング、ピクニックなどのシーズンに手ごろなラジオとして設計されており、性能やデザイン、取り扱いの容易さ、さらに強度など、ポータブルラジオとしての必須条件を完備した7石2バンドである。

性 能

- (1) 周波数変換回路に超高性能の「日立メサタイプ・トランジスタ」を二つ(2SA131, 2SA132)も用い、大形フェライトアンテナと相まって鋭い感度を発揮する。
- (2) 6 cmの日立P. M. スピーカを備かせる出力回路はB級ブッシュアップで、最大200 mWの高出力が得られる。
- (3) 音質も自動音量調節回路と自動動作安定回路の組み込みにより、ひずみとむらのない美しい音が聞ける。
- (4) 電池は単3号乾電池を3本用いた経済形となっている。

デ ザ イ ン

- (1) 色はベージュとレッド(赤色)あるいはベージュとブラック(黒色)の優美なツートンカラーに塗られており、前面のパンチメタルもレッドにはゴールド(金色)、ブラックにはシルバー(銀色)となっており、だれにも喜ばれる美しい色彩である。
- (2) ケースの裏ふたには前面とはまた違った格子模様がいり、デザインに変化をもたせてある。



第18図 7石2バンドポータブルラジオ WH-732

「日立評論」増頁と誌代改訂について

「日立評論」の特集は、従来は別冊として年間6～7冊発行いたしておりましたが、第44巻第5号以降は別冊の形をやめ、普通号の各号を増頁して特集欄を設け掲載することにいたしました。このために定価を150円に改訂することにいたしましたのでご諒承願います。なお改定後は別冊が発行されませんので年間の購読料は改定前に比べて違いがございませんことを申し添えます。

また、これを機会に学術雑誌として一層充実したものにすするため、掲載論文の厳選も併せ考えておりますので、相変わらずのご愛読をお願い申し上げます。

すでに払い込みの誌代につきましては、新定価で精算させていただきます。

日立評論社

大きさ、重さ

大きさは幅132mm、高さ82mm、奥行33mmで重さは340g(乾電池とも)という2バンドラジオの中では非常に小形、軽量になっており、ポケットやハンドバッグの中にも楽に入れられる。

取り扱いやすさ

- (1) つまみ、スイッチをセットの右側に集め、片手でも操作できるように設計されている。
- (2) 本機には高級皮ケースが付いており、屋外への持ち運びにたいへん便利となっている。

強度

キャビネットは耐衝撃性に富む高級ポリスチロール製であるので、多少のショックには十分耐えうる。

現金正価 8,000円 高級皮ケース、日立乾電池、
月賦正価 8,800円(12箇月) イヤホン付き

規格

回路方式.....7石2バンドスーパーヘテロダイナ方式

受信周波数帯.....	SW	3.8~12 Mc
	MW	535~1,605 kc
中間周波数.....		455 kc
使用トランジスタ.....	2S A131.....	局部発振
	2S A132.....	周波数混合
	2S A12	中間周波増幅(第1段)
	2S A84	中間周波増幅(第2段)
	2S B75	低周波増幅
	2S B77×2.....	電力増幅(B級プッシュプル結合)
出力.....		130mW(無ひずみ)、200mW(最大)
電源.....		4.5V(単3号日立乾電池 UM-3A 3個)
スピーカ.....		6 cm P.M. スピーカー
イヤホンジャック.....		1個(E.L-213日立マグネチックイヤホン使用)
アンテナ.....		フェライトアンテナ自蔵、10段伸縮ロッドアンテナ付属
大きさ.....		幅132mm、高さ82mm、奥行33mm
重量.....		340g(日立乾電池とも)

.....編集後記.....

復水器を常に高性能で運転するため、冷却管内に泥、砂などが付着せぬよう、随時逆流洗浄を行なう必要がある。このため従来は、冷却配管系統に比較的大形の逆洗弁が別置されていたが、逆洗弁の小形化と機器設置面積の節減のため、復水器の水室内に逆洗弁を内蔵したものが要望され、このほどわが国最初の内蔵形逆洗弁を採用した復水器が中国電力株式会社水島発電所に設置された。「内蔵形復水器逆洗弁の操作について」は、その操作方式決定にあたっての実験結果の詳報で、今後のこの種機器の発展に貢献するところ大なものがある。

◎

最近の新鋭火力発電設備は、大容量化と高温、高圧蒸気の採用により、ひん繁な起動・停止を行なうことは保守および経済的見地から、できるだけ避けなければならない。しかし電力需要の関係でやむを得ず連日または毎週、起動・停止が要求される場合がある。「急速起動におけるタービン車室の熱応力」は、このような際において熱応力の見地から見た安全かつ合理的の起動法を提示したものである。

◎

従来のならい工作機の多くは、1方向に一定速度の送りをかけ、

他の1方向にならいを行なう一次元ならいで、モデルの傾斜によって切線方向の送り速度が変わり、切削条件が一定に保持されなかった。「CK-1形二次元ならいフライス盤」は、2方向の送り速度を同時に制御し、モデルの傾斜に関係なく切線方向の送り速度を一定に保つ、完全な二次元ならいを行なう小形フライス盤のならい動作および制御機構の概要を述べたもので、彫彫作業の能率化が計られているときだけに貴重な資料である。

◎

かねて社告をもってご案内した特集欄を本号より設けた。今回は、中国—四国連絡送電線として脚光を浴びている長径同送電線用アルミ被鋼より線に関する論文を中心に、架空送電線関係の論文8篇を集録した。いずれも架空送電線の技術発達史に特筆すべき文献の精選である。

◎

巻頭を飾る一家一言欄には、北海道電力株式会社取締役会長藤波収氏より玉稿をいただくことができた。本文は、近年の科学技術の進歩に比較し、人間の心構えが進んでいないことを指摘され、人間の睿智と努力で克服できる人災はすくなくないといわれている。ご多用中にもかかわらず特に本号のために稿を草されたご好意に謝意を表する次第である。

日立評論 第44巻 第5号

昭和37年5月20日印刷 昭和37年5月25日発行
(毎月1回25日発行)

<禁無断転載>

定価1部150円(送料30円)

© 1962 by Hitachi Hyoronsha Printed in Japan

乱丁落丁本は発行所においてお取りかえいたします。

編集兼発行人
印刷人
印刷所
発行所

伊 集 廉
浅 野 浩
株式会社日立印刷所
日立評論社

東京都千代田区丸の内1丁目4番地
電話東京(231) 8111(大代)

振替口座東京71824番

取次店

株式会社 オーム社書店

東京都千代田区神田錦町3丁目1番地

振替口座東京20018番 電話東京(291)0912

広告取扱店 株式会社 日盛通信社 東京都中央区銀座西7丁目3番地 電話東京(571) 5181(代)